

## 深谷市の学校給食の方針を問う

うたむら 宇多村  
はるえ 春恵

**問** 自校式とセンター式の並立の一元化はいつか。  
**答** 一つの市で二つの制度は好ましくありません。将来、検討を必要とする時期が来るものと考えております。

**問** 岡部給食センターの老朽化に伴い花園給食センターへの統合案は岡部地区民にとって納得できないが。  
**答** 岡部地区5校のPTA理事事に理解をいただくために説明をしている段階です。保護者の意見をいただいた後、改めて検討いたします。

**問** 米飯給食の回数を増やせば米の消費にもつながるが。  
**答** めんやパンより米価の方が高く、週2・5回の現状を維持してまいります。

**被災者への支援状況は**  
**答** 災害見舞金は全焼・全壊・

流失で5万円、半焼・半壊で3万円、床上浸水で1万円、火災による水損害で1万円、死亡で5万円、負傷で3万円となっており、19年度は71万円支給しています。罹災援助事業では指定旅館に1泊5千円、7日を限度に援助しています。一時避難として市営住宅に3か月以内入居も可能で、社協より布団、日用品が支給されるほか日本赤十字社から死亡者弔慰金が支給されます。

**問** 心のケアの対応は。  
**答** 罹災直後職員が面談していますが、必要がある場合、社協や保健センターへ相談するように説明してまいります。

**岡部中央公園のトイレ改修は**  
**答** 改修も含めて検討し、予算の確保に努めてまいります。



岡部中央公園

## 負担金・補助金支出の適正化とは

かとう 加藤  
あつこ 温子

**問** 産業会館3階には産業振興部2課、2階には農業委員会・検査室が配置され、使用負担金は560万4千円（うちフロアー使用料300万円）。別棟、社会福祉協議会には事務所借上補助金464万3千円を歳出。各支所を活用すれば、支出削減となり、また社協は地域に密着したサービス提供につながると思うが。  
**答** 産業会館は市の財産で指定管理者の商工会議所へ管理経費を払っています。社協は市と別です。

**問** 市内循環バス補助金は1日当たり約15万8千円。岡部・川本・花園地区の2か月間の利用状況は1日当たり56・1人、1便当たり2名以下。見直し時に、①フリー乗降制度②運転免許自主返納による無

料バスの進呈制度の検討は。  
**答** ①は難しいです。②は貴重な意見として承ります。  
**問** 12園ある市立幼稚園で、花園幼稚園だけ送迎バスを継続し、20年度以降、自主運営に対し350万円を2年間、その後300万円の補助金が歳出見込みだが、全幼稚園児1200人に対し30人利用への対応は適正なのか。循環バス利用により、未就学児は無料、保護者負担はゼロである。公平性を欠く補助金支出もない。園児送迎時は、父兄の添乗で安全の確保はできないか。  
**答** 19年9月議会で廃止決定しましたが、要望により20年度予算に計上、運行となりました。全園対象の自主運行バス補助制度は、20年4月、各園に案内いたしました。循環バスによる通園は、指導しません。



産業会館

## 都市計画道路一小前田西通線の整備について

まつもと 松本  
まさよし 政義

**問** 小前田西通線についての県との協議状況と、当事業を市の事業とすることができないのか聞きたい。  
**答** 小前田西通線の整備については、旧花園町の方針を引き継ぎ、この路線と平行する県道小前田児玉線の付け替え事業として県事業化されますよう、県に要望しております。平成20年度においても県との協議を行っておりますが、県からは「花園本庄線を含め、事業実施中の路線が多いため、これらの整備完成の見通しがたつた時点で事業化の検討をしたい」との回答をいただいております。市では、引き続き早期着手に向けた要望を行ってまいります。

## 小前田駅北地区のまちづくりについて

でていると認識していますので、絵本をプレゼントする本事業を行う考えはありません。  
**学校の耐震化について**  
**問** 先の中国四川大地震では学校倒壊で多くの児童が生き埋めとなった。それを教訓とし学校耐震化を加速させるため、国庫補助率の引き上げなど盛り込まれ、地震防災対策特別措置法が改定された。国による財政支援が行われるこのときに、計画を練り上げ実施してもよいのではないかと。  
**答** 市では、おおむね25年を超えた建物について、耐震化とあわせ大規模改修工事を行っております。大規模改修工事費の約2割程度の工事費である耐震化工事が、財政負担の軽減に即つながるとは考えにくいので、今後も総合振興計画のとおり進めてまいります。

## 安心・安全・廉価でおいしい深谷市の水道水！

えはら 江原  
くみ子 久美子

**問** 安心・安全な水の確保と供給は、水道事業者としての深谷市の責務である。現在の状況は？  
**答** 水道法の水質基準に適合した水を供給しています。

**問** 安心な水とおいしい水は観点が全く違う。また、尺度は人により、温度などにより異なる。現在の状況は？  
**答** おいしい水を定義するのは困難ですが、旧厚生省のおいしい水研究会が定めた目安と比較すると、目安を超えているものもありません。また、次亜塩素をなるべく低濃度にするなど工夫しております。



**水をつくる 価格**  
**買う 価格**

**問** 水道について、ホームページに掲載されている。しかし、内容は、お問い合わせなどのお知らせの内容と、水質検査情報等と一緒に羅列されている。内容を分類し、わかりやすく深谷市の水をPRする必要があるのでないか？  
**答** 内容についてわかりやすく、深谷市の水道水をPRしてまいります。

## 子育て支援「赤ちゃんの駅」を提案！

まご 五間  
くみ子 久美子

**問** 外出時、赤ちゃんを抱えた保護者が気軽に授乳やオムツ替えに立ち寄れるよう公共施設に「赤ちゃんの駅」と表示をし、場所を提供できれば、さらに子育てに優しいまちになると思うが市の考えは。  
**答** 既存の公共施設の部屋や設備を利用して、実施の方向で取り組んでまいります。

**ブックスタートについて**  
**問** 赤ちゃんと保護者がゆつくりと向き合い、心触れ合うひとときを持つきっかけづくりのためのブックスタート事業に是非取り組むべきでは。近隣市では既に実施済みだが。  
**答** 市では4か月健診のときに、乳幼児にお薦めの絵本の紹介と読み聞かせを行っています。同事業と同様の効果が



小前田駅北側

**問** 上水道事業の今後の整備計画は？  
**答** 平成32年度を目途に、石綿セメント管の更新を実施していきます。また、施設の統廃合を進め、配水区域の

見直しにより、水圧等の問題も解消してまいります。  
**問** 現在、給水原価（水をつくる価格）が供給単価（買う価格）より高い。つまり、逆ざやの状況である。業務委託も含めた維持経費等、今後はどう考えているのか？  
**答** 平成21年度から窓口業務の全面委託を、また、未収金回収なども業務委託をし、経営の合理化をしていきます。

**問** 先の中国四川大地震では学校倒壊で多くの児童が生き埋めとなった。それを教訓とし学校耐震化を加速させるため、国庫補助率の引き上げなど盛り込まれ、地震防災対策特別措置法が改定された。国による財政支援が行われるこのときに、計画を練り上げ実施してもよいのではないかと。  
**答** 市では、おおむね25年を超えた建物について、耐震化とあわせ大規模改修工事を行っております。大規模改修工事費の約2割程度の工事費である耐震化工事が、財政負担の軽減に即つながるとは考えにくいので、今後も総合振興計画のとおり進めてまいります。

